



YUME いっぱい

優しい心・優しい言葉・優しい仲間

佐世保市立吉井北小学校

学校通信 25号

R03.11.16 (火)

文責 校長 堤 祐子



たくさんのご参観ありがとうございました

～学習発表会特集号～

12日(金)2年ぶりに学習発表会を行いました。当日は少し寒い中、本当にたくさんの地域の皆様方と保護者の皆様方にお越しいただきました。心よりお礼申し上げます。学習発表会を終えて、子供たちは人前で発表することが大好きだということを改めて実感したところです。

さて、今年度の学習発表会は、昨年からお知らせしていた通り、日曜日ではなく平日の午後開催とし、体育館のステージで一同が集まって発表する形式ではなく教室等それぞれが決めた場所で行う形式でした。皆で観あえる従来のステージでの発表も、本校の子供たちはとても上手だっただけに、無くすことには少し勇気がいりましたが、それでも次のような手ごたえを感じることができました。



1年 俳句発表

○一人一人が主役

今回一番大きく感じたのは、一人一人の出番が多くなったことです。1クラスではほぼ45分の表現時間ですから、その中で何度も出番があります。役や出番を任された一人一人が、しっかり「伝える」ことを意識してがんばれました。1年生でも一人一人が堂々と発表し、大きく成長した姿を見せてくれました。参観者の皆様と発表者の子供たちの距離が近いこともよかったことだと思います。

○新しい学習に合致

新学習指導要領で求められる学びの主体性。総合的な学習での学び。「学芸会」から「学習発表会」に変わった経緯は、学びの変化とご承知のとおりです。特に総合的な学習では、それぞれ学年に応じた学習のテーマの下、学んできた教科学習の能力を駆使して総合的に学んでいきます。ですから、教科書にも載っていない子供たちが学んだことを伝える場が学習発表会です。現行の学習指導要領の目指すねらいを意識し、限られた時間(外国語が入り総合の時間が減りました)の中で何ができるか。できる限りで精一杯のものを披露させていただいたと自負しております。



2年 道徳創作劇

○パソコン(タブレット)の積極的な活用

今年度当初より、本校にも一人1台タブレット端末が導入され、それを子供たちは積極的に利用して学びを進めてきました。その成果が特に高学年の発表に生かされました。

4年生の総合学習での学びは「平和」。6.29佐世保空襲や8.9長崎原爆の日について調べたことをまとめ、発表していました。5年生のテーマは「福祉」。今まで学び、自分たちで調べたことや自分の思いを班でまとめ上げ、堂々と発表しました。6年生のテーマは「ふるさと学習」と「修学旅行」。福井洞窟や直谷城など本校が校区に持つ歴史遺産を子供たちの目線で学び、地域に「伝えよう・広げよう」と学びを進めています。6年生は全員がそれぞれ一人でパソコンにま



3年 マット運動

とめ、発表活動を行いました。

○異学年での学びあい

前日までに、実は異学年で発表を観あい学びあっていました。これがリハーサルとなってさらに磨きあう良い結果となりました。例えば5年生は6年生の発表を事前に参観し、堂々とした発表態度や全員が個人発表をするというスタイルに刺激を受けて「来年はわたしたちもあんな風に発表したい」という思いをもちました。また発表内容やパソコンの表現を見て表現の効果についても学び、自分たちの発表に生かしました。異学年で学びあうことは、時に教師が教えるより、より効果的な学びになるようです。



○子供の主体性を大事にできる発表

各教科の学びでも、総合的な学習の学びにおいても、一人一人の主体性を大事に学習を進めています。ですから、この学習発表会もコンセプトは主体的に発表内容や方法を考えていくことでした。未熟な中にも、子供たちの思いを感じていただけたものと思います。例えば2年生の道徳劇は創作でしたが、子供たちの「こんな劇がしたい」という声で取組がスタートしたそうです。例えば3年生は7名という一番少ない人数でしたが、「絶対に体育館で発表したい」と意気込んでいました。できるようになった「台上前転」を観てもらいたかったのです。



○一番の成果は「達成感」を得たこと

今回の発表会での一番の効果は、やはり子供たち一人一人全員が達成感を得たことです。達成感は「がんばった」からこそ得ることができます。これが子供たちのなかで自信となり、次のステップに進むことができます。普段は見えないそれぞれの際立つ個性を見ることもできました。それぞれの自信となり、また仲間で支えあったことがクラスの力となりました。子供たちを認める大きな機会になりました。この成果を来年度の発表につなげてほしいです。



課題もありました。

●コロナ禍での開催

コロナ禍での取組で、人との接触を制限されることが多く、思うように体験活動を進めることができませんでした。また、開催についても感染拡大の状況では本当に難しく、今回は開催できたことに本当に感謝しています。感染予防をしながらの開催で、参観者の皆様には検温やマスク着用、手指消毒にご協力いただき感謝しております。しかし、結局密にならざるを得なかった場所もあり、コロナ禍での開催としては課題を残しました。

●学びの時期がずれる

これは従来からの悩みでしたが、学習のまとめを発表するには、秋はまだ早いのです。特に総合的な学習においては、体験や探究活動が足りておらず、まとめというより中間報告的なものでした。学習から子供たちが自分の思いをもって行動につなげようとするまでには至っていません。来年度は開催時期についても検討したいと思います。

さて、来年度から3学期制が始まることになり、この「学習発表会」のスタイルも更に変えていく必要があるかと思われます。子供たちのために何ができるか、何が良いか。常に子供ファーストで考え判断していきたいと思っておりますので、これからも変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。